

## エクイニクス・ジャパンと日本マイクロソフトが連携し、ハイブリッドクラウドを促進

### ～ Equinix Cloud Exchange の国内ビジネスを強化し、初期導入企業向けキャンペーンを実施 ～

東京 - 2015年1月15日 - インターコネクションおよびデータセンターサービスをグローバルに展開するエクイニクス (Nasdaq: EQIX、日本法人代表取締役 兼 北アジア統轄 古田敬、以下エクイニクス) は、本日、日本マイクロソフト株式会社 (本社：東京都港区、代表執行役 社長：樋口 泰行、以下日本マイクロソフト) の「Microsoft Azure」(以下 Azure) の閉域網接続サービス「ExpressRoute」を、2015年1月15日より、エクイニクスの国内 IBX データセンターの Equinix Cloud Exchange™から提供することを発表致します。

同時に、エクイニクスでは、企業のプライベートクラウドシステムとパブリッククラウドを統合するハイブリッドクラウドの利用促進を図る為、Equinix Cloud Exchange の初期導入企業向けキャンペーンを実施致します。

エクイニクスはこれまで、お客様の自社環境とパブリッククラウドを“公衆回線網を利用するインターネット”を介さずに直接接続することのできる Equinix Cloud Exchange により、多くの経営陣がクラウド導入の障壁と考える「セキュリティとパフォーマンスへの懸念」に解決策を提供してきました。今回の ExpressRoute による Azure 接続サービスも同様の形態で提供される為、高いセキュリティとハイパフォーマンスが約束されます。これにより、企業は、今まで以上にパブリッククラウドを安心して活用することができ、今後さらに利用が促進されることが期待されます。

本サービスは、日本マイクロソフトとエクイニクスの協業により、エクイニクスならびに双方のパートナー企業 34 社から各企業へと提供され、Azure を活用したいと考える企業は、既存の取引先であるシステムインテグレーターや通信業者などからサービス提供を受けることが可能です。また日本マイクロソフトの東日本・西日本それぞれのデータセンターから閉域網サービスが提供され、東西で閉域網回線を含めた IT 資産の冗長化を図りたいお客様のご要望に応えることもできます。

### ■ エクイニクスと日本マイクロソフトによる Equinix Cloud Exchange 経由での ExpressRoute 提供サービスの詳細

特徴	フレキシブルサービス型
どのようなお客様に適しているサービスか	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中小企業事業者や大規模企業の事業部</li><li>・ セキュリティ要件を満たしながら自由にサービスを選びたい</li><li>・ グローバル展開したい</li><li>・ 利用する分だけを支払いたい</li></ul>
利用料金	定額一定量を超えた分は従量課金 (例) 200Mbps 利用時 送信データ 1.5TB まで ¥14,790/月額、それを超える場合は従量課金 (¥5.1/GB)
設定作業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ お客様自身で最適なキャリア/パートナーを選択</li><li>・ お客様自身、もしくは、パートナーによる設計・運用</li></ul>
サービス品質	Equinix Cloud Exchange の SLA : 稼働率 99.999%以上 ExpressRoute の SLA : 月間稼働率 99.9%以上

帯域保障	完全帯域保障
国内提供開始時期	2015年1月
販売窓口	エクイニクスおよびパートナー34社（日本マイクロソフト 報道資料サイトを参照： <a href="http://www.microsoft.com/ja-jp/news/">http://www.microsoft.com/ja-jp/news/</a> ）

## ■ Equinix Cloud Exchange からの ExpressRoute 利用のメリット

- ▶ 高信頼性・高セキュリティ・高パフォーマンスで Azure を利用可能

Equinix Solution Validation Center™（エクイニクスソリューション検証センター）におけるテストによると、閉域網接続を利用したクラウドアクセスの処理能力は、インターネット経由と比較して1.47倍のパフォーマンスに達するという結果が出ています。Equinix Cloud Exchange を経由することで ExpressRoute を利用するお客様は、信頼性の向上やセキュリティ強化に加えて、より高いエンドユーザーエクスペリエンスを実現する処理速度で企業の基幹業務を遂行できるようになります。

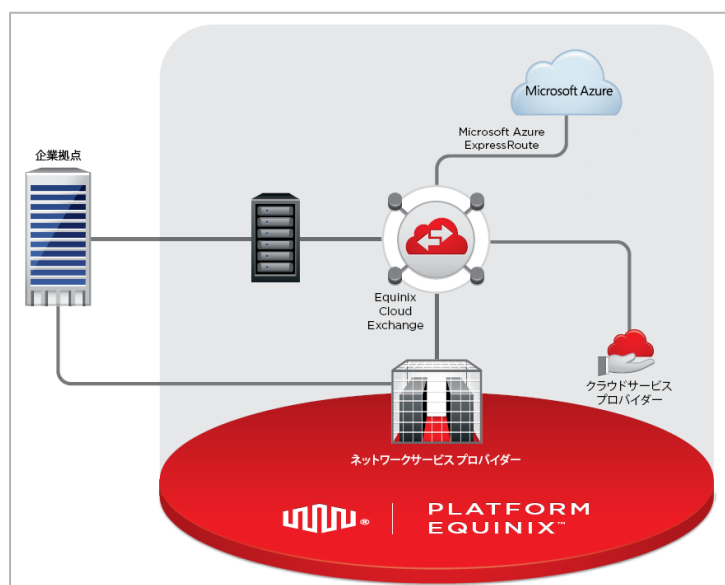
- ▶ 企業の迅速なグローバル展開を支援

エクイニクスは世界で100以上のデータセンターを運営し、450のクラウドサービスプロバイダー、1,000のキャリアとの相互接続を実現してきました。加えて、現在、世界17市場で Equinix Cloud Exchange を提供しており、グローバルビジネスを展開するお客様は、これら主要市場で ExpressRoute を利用した Azure を迅速に導入することが可能です。

- ▶ 企業のクラウド利用をより身近に

エクイニクスと日本マイクロソフトとの協業により、両社のパートナー企業であるシステムインテグレーターおよび通信事業者34社は、ExpressRoute サービスに加え、クラウド上にあるストレージのバックアップ、ディザスタリカバリー向けレプリケーション（複製）、高解像度の動画や画像を利用したメディア配信、クラウド監視等の各種サービスを提供いたします。これにより、お客様は、オンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウドを最適な形で使い分けることができます。

### 【Equinix Cloud Exchange を経由した Microsoft Azure ExpressRoute サービスの提供イメージ】



## ■ Equinix Cloud Exchange 初期導入企業キャンペーンの詳細

エクイニクスでは、企業のハイブリッドクラウド導入を加速する為、Equinix Cloud Exchange の初期導入企業キャンペーンを 2015 年 1 月 15 日から 2015 年 6 月末まで実施致します。

### <キャンペーンの内容>

対象	2015 年 1 月 15 日から 6 月 30 日の間に、新規に Equinix Cloud Exchange とそれに必要となるコロケーションサービスをエクイニクス・ジャパンと直接ご契約頂いた企業
キャンペーン内容	1Gbps 回線ポート 2 本についてその初期費用及び 12 ヶ月の月額費用を無償で提供

## ■ 日本マイクロソフトとの協業の背景

エクイニクスは、エクイニクスのデータセンターから一本の構内配線で複数のクラウドサービスへの接続を可能にする「Equinix Cloud Exchange」を、2014 年 10 月から国内で提供してまいりましたが、このたび、Microsoft Azure の ExpressRoute が国内の Equinix Cloud Exchange サービスからご利用出来るようになりました。エクイニクスとマイクロソフトは ExpressRoute の提供におけるグローバルパートナーであり、今回の発表は、両社が北米、欧州、およびアジア・パシフィックで展開してきたグローバル戦略の一環となるものです。

## ■ マンパワーグループ株式会社が採用決定

マンパワーグループ株式会社（本社：神奈川県横浜市）は、オンプレミスとクラウドサービスの間でデータを適切かつ安全に移動・配置させることで俊敏かつ確実な事業推進を戦略として掲げており、その一環として今回の Equinix Cloud Exchange 経由による ExpressRoute の採用を決定いただきました。マンパワーグループ 執行役員 情報システム部 部長 佐藤康夫氏から、以下のコメントをいただいています。

「マンパワーグループは、人材派遣の登録者データをはじめとする多くの重要なお客様情報を保有しています。現在、災害対策や事業継続性を確保するためにディザスタリカバリー環境を構築する準備を行っていますが、重要なデータを移動させる上で、ネットワークレイヤーにおけるセキュリティの確保を社内から切望されたことが、閉域網接続 ExpressRoute を採用した最大の理由です。今後は基幹システムと Azure 上に構築するシステムとの連携を拡張していく予定で、より高速なパフォーマンスが要求されます。ExpressRoute がセキュリティ確保だけでなく高パフォーマンスを実現してくれることを期待しています。」

## ■ 閉域網接続サービスの普及促進に向けた今後の取り組み

2015 年 1 月 16 日（金）に開催される日本マイクロソフト主催イベント「Go Azure 2015」を皮切りに、セミナーやイベントで ExpressRoute の紹介や業務システムのクラウド化の啓蒙活動を推進してまいります。

## ■ 各サービスの詳細は、下記 Web サイトを参照ください。

Equinix Cloud Exchange™ : <http://www.equinix.co.jp/services/interconnection-connectivity/cloud-exchange/>

ExpressRoute : <http://azure.microsoft.com/ja-jp/services/expressroute/>

Microsoft Azure : <http://azure.microsoft.com/ja-jp/>

## Equinix Cloud Exchangeについて

Equinix Cloud Exchangeは、世界中の様々なクラウドとネットワークにシームレスかつオンデマンドな直接接続を提供する高度な相互接続ソリューションです。クラウド、ネットワークの自動接続と、マネージドサービスプロバイダによる高度なサービスを組み合わせ、ハイブリッドクラウドソリューションを構築する企業に対してシンプルかつ拡張性と柔軟性に富んだマルチクラウドサービスを提供します。また、これまで多くの企業がクラウドへの移行において課題としてきたセキュリティ、パフォーマンス、信頼性、ベンダー固定化などの懸念事項も、Equinix Cloud Exchangeにより全て解決されます。Equinix Cloud Exchange の更なる詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.equinix.co.jp/solutions/by-services/interconnection/exchanges/equinix-cloud-exchange/>

## Equinix について

Equinix, Inc. (Nasdaq: EQIX) は、世界で最もネットワーク密度の高いデータセンターにおいて、4,500社以上の顧客企業、ならびにパートナー企業との間で、相互接続できる環境を提供しております。現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋における32の戦略的都市において、世界の様々な企業にEquinixのインターコネクションプラットフォームを活用していただいています。また日本国内には東京都内4カ所、大阪市内1カ所のIBXデータセンターを運営し、更に2016年1月には東京に新たなデータセンターを開設する予定です。詳細は、<http://www.equinix.co.jp>をご覧ください。

### 将来の見通しに関する記述について

本ニュース・リリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、IBXセンターの取得、運営および建設上の問題、Equinixのサービスに関する開発、設置、および提供上の問題、既に行っており、または今後買収する予定の企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、新たに開設ないし取得したデータセンターにおける顧客からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の未完遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュ・フロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要顧客とのビジネスにおける損失あるいは減退、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください（ご要望に応じ、Equinix, Inc.より入手可能です）。Equinixは、このニュース・リリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

Equinix および IBX は、Equinix, Inc.の登録商標です。Platform Equinix および International Business Exchange は、Equinix, Inc.の商標です。

###

### 本サービスに関するお問い合わせ

エクイニクス・ジャパン株式会社  
営業部 ECX 導入キャンペーン係  
TEL: 03-6402-6970  
Email: [sales-jp@ap.equinix.com](mailto:sales-jp@ap.equinix.com)

### 本リリースに関するお問合せ

海藤 みどり  
株式会社トウキョウブランディング シーメディア（エクイニクス・ジャパン PR 代理）  
TEL: 090-9309-6125  
Email: [mkaito@tokyobcm.jp](mailto:mkaito@tokyobcm.jp)